



InterSafe CATS

VDI 環境へのクライアント導入手順

■ はじめに

本資料は InterSafe CATS のクライアントモジュールを VDI 環境へ導入する手順について説明しています。

■ マスターイメージへのインストール

- ① マスターイメージで Windows の機能を設定後、InterSafe CATS の管理画面からダウンロードしたインストーラーでクライアントをインストールしてください。
- ② インストール完了後、タスクトレイに表示された CATS アイコンをダブルクリックして情報画面を開き、以下の点をご確認ください。



URL フィルタリング有効状態の CATS アイコン

- ✓ URL フィルタリングが有効状態になっていること
- ✓ グループ名と ID
- ✓ アカウント名と ID ※1

※1 Windows の「コンピュータ名」が「アカウント名」として自動で設定されます。

グループ名と ID、アカウント名と ID は CATS の管理画面（グループ/ユーザ管理メニュー）でも確認できます。

■ 仮想デスクトップ起動後の確認

- ③ 仮想デスクトップにログオン後、タスクトレイの CATS アイコンをダブルクリックして情報画面を開き、以下の点をご確認ください。
- ✓ URL フィルタリングが有効状態になっていること
 - ✓ アカウント名が仮想デスクトップのコンピュータ名になっていること
 - ✓ アカウントの ID が仮想デスクトップ毎に別の番号になっていること

CATS のアカウントは、仮想デスクトップ作成後の初回ログオン時に自動で登録され、新しい ID が割り当てられます。アカウントの登録総数、および契約ユーザ数は CATS の管理画面（HOME 画面）でご確認ください。

※ アカウントの登録数が契約ユーザ数を超過した場合、以降に作成された仮想デスクトップでは URL フィルタリングが有効になりません。

■ 認証に利用する情報について

InterSafe CATS のクライアントモジュールは以下の情報を管理サーバに送信し、アカウント認証が行われます。

① InterSafe CATS 独自のアカウント ID

以下のフォルダに保持されます。

32 ビット C:¥Program Files¥ALSI¥InterSafe¥CATS¥

64 ビット C:¥Program Files (x86)¥ALSI¥InterSafe¥CATS¥

② Globally Unique Identifier (GUID)

Windows OS 毎に一意的な値となりますが、VDI 環境ではマスターイメージと共通の値となります。

③ Universally Unique Identifier (UUID)

環境毎に一意的な値であり、VDI 環境の場合も仮想デスクトップ毎に一意的な値となります。

④ アカウント名

仮想デスクトップのコンピュータ名が取得されます。

管理サーバは、まず (①+②+③) が一致する登録済アカウントを検索しますが、見つからない場合は (②+③+④) で検索を試みます。いずれの条件にも一致しなかった場合は、新規アカウントとして新しい ID が割り当てられます。

<注意事項>

初回認証実施済みの仮想デスクトップ環境において、②か③（または①と④）の値がログオンや再起動の度に変更される場合、登録済アカウントとして認証されずに新規アカウントが追加されます。この動作が繰り返し発生することでアカウントが増加し、ライセンス超過が起こる場合があります。仮想デスクトップ環境で利用する場合は、(①+②+③) もしくは (②+③+④) の値が維持されるよう、ご注意ください。